

「化学物質総合情報提供システム（CHRIP[®]）」の
情報整備について（お知らせ）

平成19年4月2日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
化学物質管理センター

独立行政法人製品評価技術基盤機構（nite）化学物質管理センターは、知的基盤整備事業（化学物質総合安全管理基盤整備）の一環として、化学物質を適切に管理するために必要な化学物質の有害性情報などを収載したデータベース「化学物質総合情報提供システム（Chemical Risk Information Platform：CHRIP）」をインターネット上で提供しており、常により質の高い情報の提供を行うとともにより使いやすいデータベースを目指し、関係機関の協力を得て新しい情報の収集と、利用者の要望等を踏まえたシステムの改良等に取り組んでおります。

この度、CHRIPの提供情報について、GHS分類結果の追加など、以下の情報について新たに整備いたしました。これらの情報の追加により、更に効率的な検索及び表示が可能となりました。

- （1）“化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）”の関係省庁連絡会議によるGHS分類結果の追加
- （2）化学物質有害性評価書に記載されている主な試験結果などのまとめ情報追加
- （3）化審法新規白公示物質約3100物質、第2種監視化学物質70物質のCAS番号の追加
- （4）有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律対象物質の情報追加
- （5）「化学物質の初期リスク評価書」（NEDOプロジェクト「化学物質総合評価管理プログラム」の成果物）の情報及び評価書へのリンク追加
- （6）「環境省化学物質の環境リスク評価」の情報及び評価書へのリンク追加
- （7）PRTRデータの排出量内訳（届出排出量、推計排出量）及び移動量の各データ追加
- （8）物理化学性状におけるヘンリー定数、引火点、発火点、燃焼範囲のデータ追加

ぜひ、引き続きCHRIPをご利用くださいますようお願い申し上げます。本システムのホームページは次のとおりです。

（URL） 日本語版 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

英語版 <http://www.safe.nite.go.jp/english/db.html>

今後とも、CHRIPのより一層の充実のため、データの整備、検索機能の改良を心がけて参りますので、お気づきの点などがありましたら、何なりとご意見等お寄せくださいますようお願い申し上げます。

ご連絡先E-mailアドレス：safe@nite.go.jp